

働く女性の「薄毛」に関する意識調査

「薄毛の不安」 にかかえる女性8割以上

ナガセビューティーケアが薄毛に関する調査を実施、結果を公開

20代から60代までの働く女性500人を対象に行った「薄毛」に関する意識調査。「薄毛」は女性の見た目の印象を左右するばかりでなく、気持ちや行動を変化させる要因の一つでもある。そこで、中高年女性向けのヘアケア市場が盛り上がりを見せているなか、女性の「薄毛」に関する意識の結果を検証する。

美容エステジャーナルの
 次回の発行は
 2015年8月25日です

ナガセビューティーケア(本社東京都中央区、丸岡英樹社長)では20歳代~60歳代の働く女性500人を対象とした「薄毛」に関するアンケート調査を行い、その結果を公開した。

まず「現在、ご自身の薄毛の状態はどの程度だと感じています

か」の質問には「明らかに薄毛と感じている」が21%。「やや薄毛と感じている」が49%と、両者を合わせた回答は7割に達することがわかり、多くの働く女性が自身の薄毛を認識している結果となった。また、現在薄毛だと感じ

髪のために実際に行っていることは何ですか?(複数回答)

50代		60代			
1	頭皮のマッサージを行う	31.0	1	正しい食生活	38.0
2	日焼けを避ける	27.0	2	頭皮のマッサージを行う	33.0
2	育毛剤を使う	27.0	3	睡眠をとる	32.0
2	日傘を使う	27.0	4	育毛剤を使う	30.0
5	正しい食生活	26.0	5	日傘を使う	26.0

図2

すか?(図1)の質問では、最も多かったのが「1,000円~3,000円未満」(38%)。以下、「5,000円~10,000円未満」(22%)、「3,000円~5,000円未満」(19%)、「10,000円~3,000円未満」(10%)と続いた。最も高い金額は100,000円以上となり、平均金額は4,266円となった。

「髪のために実際に行っていることは何ですか?」の質問には、全体では「ストレスを溜めない」

(62%)が最も高い結果となった。年代別で特徴的なのは50代と60代の結果(図2)。「育毛剤を使う」が20代から40代まででは下位だったにもかかわらず、50代では2位(27%)、60代では4位(30%)と上位に上がっている。つまり50代以上になると急激に育毛剤の使用率が高まるのがこの調査から分かる。これらは非常に興味深い内容で、これからの女性向けヘアケア商材開発の参考になる。

薄毛を解消するために 月いくらまでなら払いたいですか?



図1

か?」の質問には「とても気になる」(28%)、「やや気になる」(54%)と両者を合わせると、8割以上の女性が将来的な薄毛への不安があることが明らかになった。

次に「薄毛を解消できるとしたら月にいくらまでなら払いたいと思いま

MFIP FIRST CLASS
 Dr. Arrivo
 Ghost



MFIP

MFIP®とは、中周波断続パルスの事で、断続的にウルトラパルスのエネルギーを与える事によって、エステティシヤンの行うタッピングのような体感でウルトラパルス®の効果を与えます。

Miss Arrivo
 EXECUTIVE CLASS
 Ghost



ウルトラパルス®

- ◆MFIP®(中周波断続パルス)
- ◆ウルトラパルス®(インサートパルス・Radio Frequency・EMS)
- ◆LED(BLUE/415nm・YELLOW/590nm・RED/620nm)

インサートパルス・Radio Frequency・EMSを同時に出力させることで肌奥深くまで美容液の浸透をさせ、さらにリフトアップ効果を高めます。

ARTISTIC & Co.

〒501-6257 岐阜県羽島市穂寿町平方 10 丁目 80 番地 ART OFFICE

FREE DIAL 0120-656-959 TEL 058-397-0309 FAX 058-397-0373

URL: http://www.artistic.co.jp/

JAAS(日本アンチエイジング外科学会)正会員 KAAS(韓国美容外科学会)正会員
 APAS(アジア美容アンチエイジング学会)正会員 アジアアンチエイジング美容協会正会員

ARTISTIC & Co. x



Dr. Jan Jong Hokke 院長 Dr. Chiharu Watanabe 院長 Dr. Rei Torada 院長 Dr. Shoko Sumiyoshi 院長